

朗 読

りゅうりえんれんの物語

— 人の命と戦争のことを考えてみよう —

今から70年ほど前、世界中の国々を相手にした戦争のさなか、日本軍は、当時日本の統治下にあった朝鮮半島や中国大陸から、沢山の人々を労働力として集め、劣悪な環境の元に使役していました。「りゅうりえんれんの物語」は、この時、自らの運命を大きく狂わされてしまった実在の中国人、劉連仁さんの体験を、茨木のり子さんが長詩に編んだものです。

そしてこの戦争は、広島、そして長崎に落とされた原爆をもって終わりを迎えます。これらの史実は、今の私たちに何を伝えているのでしょうか。

他に、栗原貞子さんの「産ましめんかな」石垣りんさんの「弔詞」など、戦争にまつわる文学作品の朗読をとおして、人の命について考える1時間です。

日時：2013年11月2日（土）

14：00開演（開場は開演の20分前）

会場：戦災復興記念館 地階 展示ホール

入場無料

朗読：長保 めいみ

（シェイクスピア・カンパニー）

及川 久

（宮城朗読率仕会）



お問合せ：ことはね 080-5560-4914（長久保）